

(お知らせ)

令和4年4月1日
四国電力株式会社

株式会社 Sustech による、分散型電力運用 VPP プラットフォーム 「ELIC」を用いた発電量予測に係る実証実験の開始について

当社グループは、昨年3月に発表した「よんでんグループ中期経営計画 2025」において、エネルギー供給を支える責任ある事業者として、「電源の低炭素化・脱炭素化」と「電気エネルギーの更なる活用」の推進を通じて、「2050年カーボンニュートラル」へ挑戦していくこととしております。

こうした中、当社は、株式会社 Sustech（代表取締役：飯田祐一郎・丹野裕介、以下「Sustech」）との間で、同社が開発した分散型電力運用 VPP プラットフォーム「ELIC」を用い、AI による太陽光発電量予測に関する実証実験を開始することといたしました。

今回の実証実験を通じて得られた知見の蓄積等により、天候に左右される太陽光発電量の予測精度向上に寄与することを期待しております。

当社としては、今後も、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取り組みを積極的に展開し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

(別紙)：分散型電力運用 VPP システム「ELIC」について

以 上

(別紙)

分散型電力運用 VPP システム「ELIC」について

Sustech の開発した分散型電力運用 VPP システム「ELIC」は、発電量予測を行うことでインバランスリスクを低減し、電力の戦力化を目指すプラットフォームです。今回の実証内容に含まれる発電量予測に加え、計画提出・インバランスリスク管理・市場価格予測・相対取引価格管理・出力抑制対応・蓄電池の充放電管理などの機能も同時に開発中であり、順次実装を予定しています。

発電量予測精度については、既に Sustech 内実証実験を通じて高い予測精度を記録しており、当社での実証を通じて、更なる精度向上を目指します。



以上